

西伊豆健育会病院 透析室 ケアワーカー 服部 知恵

功 績	透析の下肢末梢動脈疾患指導加算を継続する為、ケアワーカーとして出来る事を考え、行動に移した功績。
推 薦 者	看護部長 小川 秋美
推 薦 理 由	透析室の服部ケアワーカーは、常に自分に何が出来るかを考えて、進んで行動しており、透析室、また病院全体としても規範となる職員であると考え推薦します。

内 容

透析室でケアワーカーとして勤務している服部知恵は、毎年の目標に透析ケアワーカーとして出来る事とは何かを考え、具体的なアクション計画を立てて行動に移している。

数年前から当院透析室では、下肢末梢動脈疾患指導加算を算定しており、この加算を維持する為にどうすれば良いかを部門目標とし、その中で服部さんはケアワーカーとして何が出来るかを考え、具体的なアクションプランを立案した。

患者さんが下肢を受傷するとこの加算が取れず、実際昨年度は下肢受傷の患者さんが何人か続いた。その為、今年は減らしたいと考えて下記2点を具体的なアクションとした。

- ①日頃来院時に履いている患者さんの履物を写真撮影
- ②靴以外では（例えば草履）足に怪我をしやすいという事を説明

どのような履物を履いていると怪我がし易いか、安全かを写真を並べて掲示する事で、患者さんの理解度を促進させた。

その効果もあり、現在下肢に傷のある患者さんはいない。

常に自分に出来ることは何かを考え、計画して行動し、また毎年目標達成の為に何度もトライ出来る、患者さんからの信頼も厚い、服部ケアワーカーを理事長賞として推薦致します。